

UBSブラジル・リアル債券投信(毎月分配型)／(年2回決算型)

追加型／海外／債券
※自動引き落とし投資適用

【投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込は】

野村證券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第142号

【加入協会】日本証券業協会、

(社)日本証券投資顧問業協会、(社)金融先物取引業協会

【設定・運用は】

UBSグローバル・アセット・マネジメント株式会社

金融商品取引業者、関東財務局長(金商)412号

【加入協会】(社)投資信託協会、日本証券業協会

(社)日本証券投資顧問業協会

UBSブラジル・リアル債券投信(毎月分配型)

第24期決算のお知らせ

平素は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、「UBSブラジル・リアル債券投信(毎月分配型)」は、2010年9月21日に第24期決算を迎えました。当期の分配金額について下記の通り決定しましたので、お知らせ致します。

■ 第24期分配金(1万口当たり、課税前)

【第24期:2010年8月21日～2010年9月21日】

55円

※上記の分配金は過去の実績であり、将来の分配金を示唆、保証するものではありません。

◎分配方針と当期の運用経過

当ファンドは、毎決算時(毎月20日、休業日の場合は翌営業日)に、原則として継続的な分配を行うことを目指します*。分配対象額の範囲は、経費等控除後の繰越分を含めた配当等収益および売買益(評価益も含みます)等の全額とします。

*分配金は分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合があります。

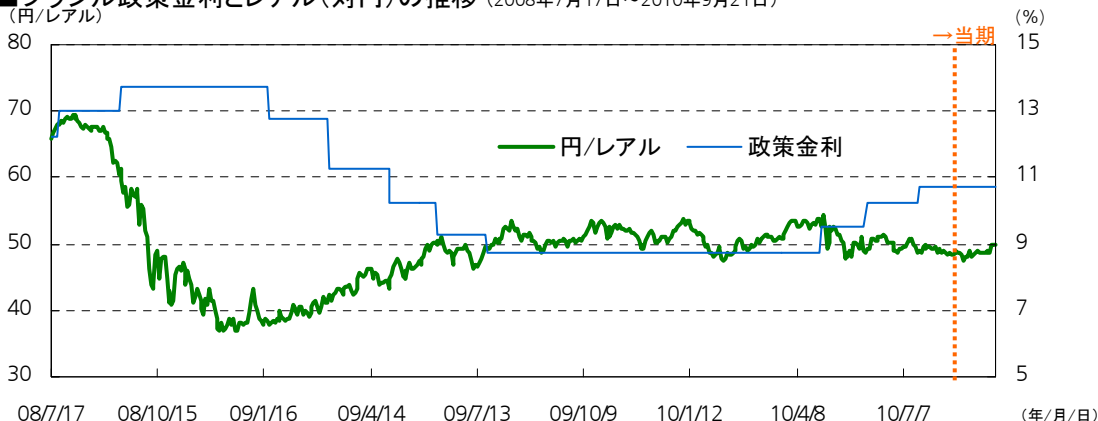
今期のブラジル・リアル建て国債市場の利回りは0.36%の上昇**、ブラジル・リアルは対円で2.47%の上昇***となりました。

期初には、米国の7月の中古住宅販売件数が大幅に予想を下回り、安全資産への投資意欲が高まったことから、ブラジル国債市場の利回りは低下しました。その後、8月27日に発表された米国の第2四半期の実質国内総生産(GDP)改定値が市場予想を上回っていたことなどから、米国の景気減速についての過剰な警戒感が後退し、ブラジル国債市場の利回りは上昇に転じました。その後も、ブラジルの第2四半期GDPや8月の雇用統計などが良好な内容となったこと、米国の8月の雇用統計が市場予想ほど悪化しなかったこと、8月の中国の製造業購買担当者指数(PMI)が良好であり8月の輸入も高水準だったことなどから、ブラジル国債市場の利回りは上昇を続けました。尚、9月1日にはブラジルの政策金利の据え置きが発表されましたが、市場予想通りであったことから、ブラジル国債市場の利回りの低下を招く結果には至りませんでした。為替市場では、ブラジルリアルは期初から対円で上昇し、49円台で期を終えました。

**2010年8月20日～2010年9月20日におけるJPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド・ブラジルの利回り

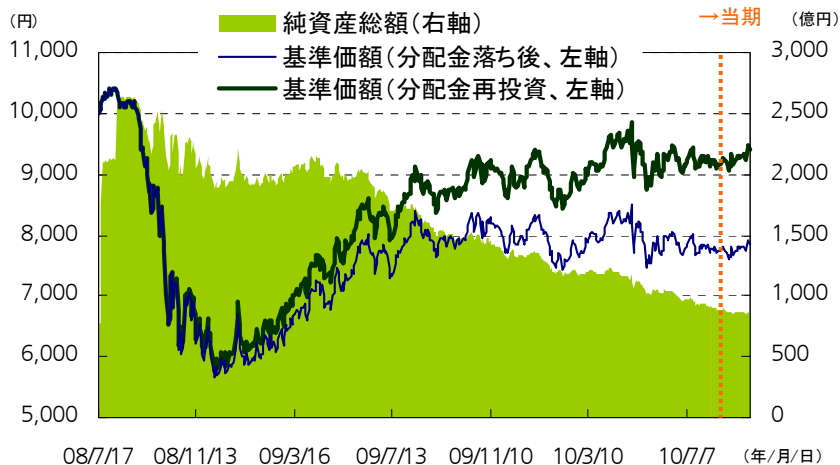
***2010年8月21日～2010年9月21日におけるわが国の対顧客電信売買相場の仲値

■ブラジル政策金利とリアル(対円)の推移 (2008年7月17日～2010年9月21日)



以上を背景とし、当期の当ファンドの基準価額(課税前分配金再投資)は、2.21%の上昇となりました。また設定来の当ファンドの運用実績は下記図表の通りとなりました。当ファンドのマザーファンド組入れ銘柄の平均最終利回りは11.21%、デュレーションは1.99年(2010年8月末時点)となりました。当期の分配につきましては、分配対象額の範囲から、継続した分配を行うための分配金原資の水準等を勘案し、1万口当たり55円(課税前)をお支払いすることと致しました。

■設定来の純資産総額、基準価額の推移 (2008年7月17日～2010年9月21日)



当期末時点	
純資産総額	857億円
基準価額(分配金落ち後)	7,841円
基準価額(分配金再投資)	9,420円
設定来分配金累計	1,355円

2010年7月より、基準価額(分配金込み)に替わり基準価額(分配金再投資)へ変更しました。基準価額(分配金再投資)は、ファンドの分配金(1万口当たり、課税前)でファンドを購入(再投資)した場合の価額です。基準価額の記載については全て信託報酬控除後としております。上記は過去の実績であり、将来の運用成果を示唆、保証するものではありません。

◎今後の運用方針

9月1日にブラジル中央銀行は政策金利を10.75%で据え置く決定をしました。今後のブラジルの利上げは従前の予想よりも緩やかなペースで行われると見る向きが強くなっています。当ファンド運用チームでも、2010年中のブラジル政策金利は10.75%で維持されると見ており、2011年に再び段階的な利上げが行われるとみています。また、ブラジルの国内総生産(GDP)については、2010年後半に経済成長のペースが緩やかになるとの予測を織り込み、2010年全体では7.7%の成長になると考えています(いずれも当資料作成時点における予測)。

当期に発表された8月の雇用統計は、雇用者数の純増が29.9万人となり、過去3年間の平均を上回る良好な結果となりました。7月の小売売上高も堅調に推移しました。また、ブラジルの第2四半期の国内総生産(GDP)は対前期比で1.2%増となり、市場予想を上回りました。一方で、7月の鉱工業生産は対前月比で0.4%増(季節調整済み値)となり、市場予想を下回りました。8月の広範囲消費者物価指数(IPCAインフレ指数)は穏やかな上昇にとどまり、過度なインフレに陥る懸念が後退し、ブラジル中央銀行も2010年のIPCAインフレ指数の見通しを引き下げました。

外部環境については、米国の景気減速についての警戒感は落ち着きを見せたものの、世界経済の景気回復の見通しについては依然不透明な状況が続いています。このような環境下で、ブラジルの堅調な経済ファンダメンタルズや相対的に高い利回り、中長期的な経済成長の安定性は市場の注目を集めており、今後もブラジル債券への投資意欲を支える材料となると思われます。また、2014年にはサッカー・ワールドカップ、2016年には夏季オリンピック開催を控えていることも、世界におけるブラジルの存在感を高める一因となっています。

足元では、ブラジルのマクロ経済の見通しや外部環境が債券価格に与える影響に配慮しつつ、引き続き慎重な運用を行っていく方針です。ブラジルは今秋には大統領選を控えておりますが、主要候補はおしなべてマクロ経済政策の方向性を大きく変更しないとの考えを打ち出しているため、選挙の動向によって市場が大きく動く可能性は低いと見ています。

今後とも「UBSブラジル・リアル債券投信(毎月分配型)」をご愛顧賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

以上

投資リスク

当ファンドの基準価額は、組入れられる有価証券等の値動きによる影響(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を受けますが、これら運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

当ファンドにかかる主なリスクは次の通りです。ただし、すべてのリスクについて記載されているわけではありません。

■ 公社債に関する価格変動リスク

当ファンドは実質的に公社債への投資を行います。

公社債の価格は、主に金利の変動(金利変動リスク)および発行体の信用力の変化(信用リスク)の影響を受けて変動します。

公社債の価格が下落した場合には、当ファンドの基準価額が下落する要因となります。

公社債の価格の変動幅は、債券の償還までの残存期間、発行体の信用状況などに左右されます。

■ カントリー・リスク

投資対象国・地域において、政治・経済情勢の変化等により市場に混乱が生じた場合、または取引に対して新たな規制が設けられた場合には、基準価額が予想外に下落したり、運用方針に沿った運用が困難となったりする場合があります。

なお、当ファンドが実質的に投資を行うブラジルの債券投資には、一般的に先進国と比較して、「格付けが低い場合があること」、「経済状況および政治的、社会的な変化の度合いおよび速度が大きい傾向にあること」、「流動性が低く、制度、インフラストラクチャーが未発達であること」、「企業等の開示に関する正確な情報確保ができないこと」などのリスクおよび留意点があります。

■ 為替変動リスク

外貨建資産を円貨ベースにした場合、その資産価値は、為替レートの変動により影響を受けることになります。

為替レートは短期間に大幅に変動することがあります。

したがって、為替の変動に伴い、当ファンドの基準価額が変動する可能性があります。

「その他の留意点」「リスク管理体制」については、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

ファンドの費用 (詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください)

当ファンドのご購入時や保有期間中には以下の費用がかかります。

■ 直接ご負担いただく費用

購入時手数料	購入価額(購入申込受付日の翌営業日の基準価額)に3.675%(税抜3.5%)の率を乗じて得た額
信託財産留保額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額に対して0.3%を乗じて得た額

■ 間接的にご負担いただく費用

運用管理費用(信託報酬)	日々の純資産総額に年1.6275%(税抜年1.55%)の率を乗じて得た額 ※運用管理費用は、毎計算期末または信託終了のときファンドから支払われます。
その他の費用	監査費用および法定手続き(書類の作成、印刷、交付等)に関する費用など(日々の純資産総額に対して上限年率0.1%(税込))を間接的にご負担いただく場合があります。 ※原則として、毎計算期末または信託終了のときファンドから支払われます。 信託財産に関する租税(ブラジル市場における金融取引税(IOF)を含みます。)、組入有価証券の売買委託手数料、外国での資産の保管費用などが、原則として費用発生の都度、ファンドから支払われます。 ※当ファンドが、為替取引を伴うブラジル債券投資を行う際に、金融取引税(2.0%、2010年6月末現在)がかかります。なお、ブラジルにおける当該関係法令等が改正された場合等には、税率および取扱いが変更になることがあります。 ※信託財産の規模、取引量等により変動しますので、事前に金額および計算方法を表示することができません。

投資者の皆様にご負担いただく手数料などの合計額については、保有期間や運用の状況などに応じて異なりますので、表示することができません。

お申込メモ (詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください)

設定日	2008年7月17日
信託期間	2008年7月17日～2018年11月20日
決算日	<毎月分配型>原則として毎月20日 <年2回決算型>原則として毎年5月20日および11月20日 ※決算日が休業日の場合、翌営業日が決算日となります。
収益分配	<毎月分配型>毎月(年12回)の決算時に収益分配方針に基づいて分配を行います。 <年2回決算型>年2回の決算時に収益分配方針に基づいて分配を行います。 ※分配金の再投資が可能です。
申込日	原則として、販売会社の営業日に受付ます。 ただし、サンパウロ証券取引所もしくはサンパウロの銀行またはニューヨークの銀行の休業日と同日の場合には、購入、換金の申込の受付は行いません。
購入単位	1万円以上1円単位または1万口以上1万口単位
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額 (購入代金は、原則として購入申込受付日から起算して6営業日目までに販売会社にお支払いいただきます。)
換金単位	1円単位または1口単位
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた額とします。
換金代金の支払日	原則として換金申込受付日から起算して6営業日目から販売会社においてお支払いします。
課税関係	収益分配時の普通分配金、換金時および償還時の譲渡益に対して原則として課税されます。なお、税法が改正された場合等には、内容が変更になる場合があります。
受託会社	野村信託銀行株式会社